

令和８年度長野県公立高等学校入学者選抜における学校別実施内容一覧（予定）

1 全日制課程

- （表の見方）
- 「募集」欄は令和7年度(2025年度)入学者選抜の募集学級数です。令和8年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
 - 前期選抜の募集枠%の数字は募集人員の上限を表しています。
 - 第2志望欄の○印がついている学科間においては第2志望（学校により第3志望まで）を認めます。（別紙「第2志望及び第3志望の取扱い一覧」参照）
 - 傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
 - 再募集欄は前期選抜及び後期選抜において、入学予定者数が募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
 - ｝は、くくり募集をする学科です。
 - 空欄になっている箇所については実施しません。
 - 前期選抜及び後期選抜では学力検査を実施します。
 - 小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
 - 再募集の志願理由書から実技検査欄については、後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は○印がついています。

前期選抜・後期選抜・再募集

番号	高校名	学科	募集	前期選抜（自己推薦型選抜）					後期選抜（一般選抜）					再募集							
				募集枠%	募集の観点	志願理由書	面接	作文 (小論文)	実技検査	志願理由書	面接方法	面接	作文	実技検査	傾斜配点	第2志望	志願理由書	面接	作文	実技検査	傾斜配点
53	岡谷工業	工業	機械工学	1※ 60	本校で学ぶための基礎学力を有し、志望する学科に対する強い興味・関心を持ち、入学後も意欲的に学習し、本校での生活を通して自らを高めようとする意志を持つ者で、次に示した①または②のいずれかを満たしている者。	志願者は、本校所定の用紙に、「募集の観点」に基づき、学科を志願した理由、入学後学びたいこと、活動してみたいこと、卒業後の進路等について、具体的に記述する。募集の観点②で志願する者は、中学校での実績を元に活動してみたいことについて具体的に記述し、志願理由書に示された本校所定の書式に従って、中学時代の実績についても記述する。	<個人面接10分程度>				対面	<個人面接10分程度> 志願の理由、入学後の抱負、基本的生活習慣、中学時代における学習活動を含めた諸活動、高校生活に対する意志・決意等について質問する。				○		○			○
		工業	電気工学	1※ 60	観点① 入学後は高校での学習をより一層深め、卒業後は修得した知識・技能等を活かし、関連する工業系分野等への就職をめざす者。または、本校で修得した専門性に関連する分野への進学をめざす者。						対面					○		○			○
		工業	電子機械	1※ 60	観点② 中学校時代に部活動、社会体育活動のいずれかで顕著な実績と優れた資質をもち、学業と両立して、入学後も活動を継続してその分野をより高めたいという者。なお、可能な限り、応募前に希望する本校の部活動を見学しておくものとする。						対面					○		○			○
		工業	情報技術	1※ 60							対面						○		○		

※ 岡谷工業高等学校については、令和8年度から機械科、電気科、環境化学科、電子機械科、情報技術科を機械工学科、電気工学科、電子機械科、情報技術科に変更する。募集学級数は令和7年度のものであり、令和8年度のは今後決定する予定。

令和８年度長野県公立高等学校前期選抜における評価方法一覧（予定）

1 全日制課程

- （表の見方）
- 「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
 - 「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。評価点を示したのではなく、合計して可否を判定するわけではありません。また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
 - 「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
 - 「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
 - 事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。

番号	高校名	学科	観点別	評価方法	調査書	面接	学力検査	作文(小論文)	実技検査	備考
53	岡谷工業	工業	①	比重	70	20	10	-	-	
				項目等	各教科の学習の記録、特別活動の記録、総合所見及び特記事項を重視する。特に、数学・理科・英語の学習成績を重視する。	志望動機・生活習慣・表現力・意欲・態度・適性等				
		工業	②	比重	70	20	10	-	-	
				項目等	各教科の学習の記録、特別活動の記録、総合所見及び特記事項を重視する。活動実績は、中学校時代の部活動・社会体育活動等。	志望動機・生活習慣・表現力・意欲・態度・適性等				

※ 岡谷工業高等学校については、令和8年度から学科改編予定である。新しい学科名を示してある。

令和８年度長野県公立高等学校入学者後期選抜における第2志望及び第3志望の取扱い一覧（予定）

高校名	学科	第2志望まで可能	第3志望まで可能	備考
	志望区分			
岡谷工業	工業	機械工学	〓	
	工業	電気工学		
	工業	電子機械		
	工業	情報技術		